

平成29年度 第5回  
九州地方整備局  
事業評価監視委員会

# 一括報告案件一覧

・ダム1事業

平成30年1月31日  
九州地方整備局

■ダム事業：一括報告案件一覧【事後評価】

平成29年度 第5回事業評価監視委員会

事業名	事業概要	事業内容	総事業費	整備期間	現在価値化			事業の効果発現	学識者懇談会の審議結果	学識者懇談会での主な意見	
					全体事業						
					総便益 B (億円)	総費用 C (億円)	B/C				
① 大山ダム建設事業 (水資源機構)  (大分県)	昭和59年2月筑後川水系における水資源開発基本計画の一部変更に基づき、大山ダムを整備し、上流ダム群と相まって洪水調節による災害発生の防止又は軽減、流水の正常な機能の維持と増進を図ると共に、不特定用水の補給、都市用水の供給を行う。	■重力式コンクリートダム (事業諸元) ・総貯水容量: 19,600 千m <sup>3</sup> ・有効貯水容量: 18,000 千m <sup>3</sup>	約1,045億円	昭和58年度～平成24年度	1,649	利水事業に関わる便益 831.4 治水事業に関わる便益 785.5 残存価値 32	1,189	1.4	<p>■ダム管理開始以降発生した平成27年8月洪水では最大流入量約102m<sup>3</sup>/sのうち約96m<sup>3</sup>/sを貯留した。</p> <p>また、試験湛水中の平成24年7月洪水(H24九州北部豪雨)では最大流入量約325m<sup>3</sup>/sのうち約311m<sup>3</sup>/sを貯留し、下流川平地点において約2.5mの水位低下があったと推測される。</p> <p>■不特定補給として、年間160日程度の補給を行っているとともに、常時0.8m<sup>3</sup>/s以上の放流により下流の流況安定に寄与している。</p> <p>■必要に応じてダムからの放流を行っており、既得用水の安定化、河川環境の保全および水道用水の供給に寄与している。</p> <p>■年間平均で2,253MWhの発電を行っている。</p>	<p>【開催日】 九州地方ダム等管理フォローアップ委員会 ・平成29年12月5日</p> <p>【審議結果】 ・対応方針(案)のとおり、今後の事業評価及び改善措置の必要性なしで了承された。</p>	・特になし